

環境共生型の経営

廃棄物を回収し、再生させる 専門業者がかつての日本に居た

第1回 世界的模範の循環都市「江戸」

わが国は面積が狭く、山林の占める割合が高い国です。又資源が一部のものを除いて殆ど存在しないので、多くの人が生計を立て、文化的生活を営む為に、先祖達はさまざまな工夫を巡らしてきました。与えられた条件や環境を十分に生かした生活設計をする習慣が、長い歴史の中で自然に身につけてきたのです。

わが国では数百年にわたり、その国土、森林、海から生み出される限られた物質で生活を営み、廃棄物はその内容によって、循環使用していました。その典型的事例が江戸です。

不用品を二次利用 サポートする修理商も

江戸では、市民が使用した後の品物や廃棄物を回収する専門の業者が、幕府の鑑札を持って市内を循環しながら、収集を回っていました。

その例を右下の表にあげてみましょう。市民は家庭から出た物資を極力他の用途に循環使用しています。

『廃棄物の転用例』	
●魚の油・あんどん・照明	●燃料・灰・酒作り・製紙
●菜種油・肥料	
●わら・燃料・肥料・屋根材・衣服	●繊維・染色・陶器
●衣服・包装材	
●竹の皮・包装材	●燃料・灰・酒作り・製紙
●排泄物・肥料	
●洗濯	

そして、その活動を進める為の専門業者として各種の修理商人が発展に住んでいました。いかけ屋、下駄屋、物置き、肥料汲み、灰買、傘骨集め、ほづき売り、瀬川物修理屋などがその技術を活用しながら、物が大切に使用されることに参加していたのです。それらの活動が回りまわって市民の役に立っていたので、長い年月にわたって繁栄を維持していました。

これ程多くの人が住みながら、世界的に模範となる循環都市を作ることに成功していたというわけです。他には見られない日本人の賢明な生き方の実現です。江戸は徳川幕府の力が強く、国内が比較的手をまわっていたので、戦争という大消費が起っていません。その結果、農業生産にゆとりが生じ、農民は茶、桑、漆、絹などの換金植物に力を入れることが出来ましたし、人口も増加していました。つまり持続的社會が形成されていたのです。

「もったいない」を今一度

自然や物に対する敬意、愛が込められた日本人が唱えるまたとない言葉

近代化とともに、近代化を急ぐ余り、これら輝かしい江戸の社会システムはいつしか忘れ去られてしまいました。富国強兵、殖産振興など近代化の波がそのようにしてしまい、又敗戦後の物資不足から逃れるための産業復興の時代には、工業化を急ぐ必要がありました。そのうちで今のような社会構造を作ってしまったが、それは時代の要請に合っていたからです。

でも心ある市民達は敗戦の復興段階が終わった頃に、国際的動きの中で、大量生産、大量消費、大量放棄の考えや政策を變更する必要に気づいていました。

戦争のエネルギーを地球課題の解決にシフト

折りもおり2004年にノーベル受賞者であるケニアのワンガリ・マタイ氏が、長い間日本人が忘れかけていた言葉(もったいない)という言葉を発見し、自ら使用をし、次第に普及して今や世界語として使用されるようになりました。リサイクルやユースなどの言葉と比較してみても、「もったいない」のよ

うに、日本人が長い間、自然や物に対する敬意、愛などの意思を込めたような言葉が他の言語に見つけられていません。

この「勿体無い」思想は、今地球規模で共感を得、その重要性が強調されてきています。

この地球の資源も空気、水、動物、植物などの自然環境もすべて我々の世代の為にのみ存在するのではなく、我々が先祖や親から引き継いだ財産であり、これを良好な状態を維持しつつ、次世代、次次世代へ継承していくというのが持続的という考え方です。その実現の為には多くの課題が横たわっていますが、地球市民がこれまでも多くの知恵をエネルギーを動員していた戦争や紛争を停止し、そのpowerをこの地球的課題に取り組めば解決すると思っています。

本欄は、リサイクル・リユースに関する最近の動きを中心に連載を続けながら、関連業務に従事している皆様と共に考えながら、解決への道を探る助けが出来ればと思っています。

近代化とともに忘れられたシステム

しかし、列強諸国のアジア進出に心をえるために鎖国政策から、開国政策に交換され、明治以来の近代化の



藤田 慶喜氏

昭和10年、東京師範生、東京女子理学院地学科卒業後、新日鉄広畑製鉄所で研究、生産に従事。本学技術部門、エンジニアリング部門を勤務後、ウィーンの国際工業開発機関「工業技術推進部長」に選任され、国際的立場から環境政策、エネルギー問題に取り組み。帰国後は、桜美林大学教授となり、副学長をつとめ、現在は名城大学教授に、日本マクロ経済・リニアリング学会会長、国際環境NGO代表理事、日本リユース協議会の名誉顧問などに就き、環境保全の観点から様々な問題に取り組んでいます。